まるっと蒲田NEWS

JCHO東京蒲田医療センター

2025年
12月号



命を救う赤い箱
～AEDをもっと身近に～



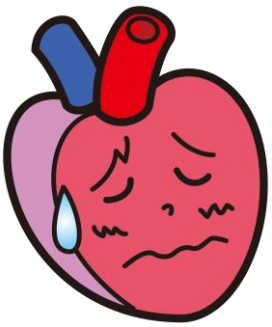
「突然の心停止、そのとき」

もしも目の前で人が倒れ、呼びかけても反応がないとき。
救急車を呼ぶのはもちろんですが、その到着までの数分間が命を分けます。
AED（自動体外式除細動器）は、その瞬間に使える「命を守る道具」です。



「AEDって何をしてくれるの？」

心臓がけいれんして血液を送れなくなった状態を、電気ショックで正常なリズムに戻します。
AEDは音声で手順を案内してくれるので、特別な知識がなくても安心して使えます。



「使うのは、あなたです」

AEDは、医療従事者だけでなく誰でも使えます。
ためらわずにフタを開け、音声に従って操作してください。
「赤い箱＝命を守る道具」と覚えておくだけでも、もしもの時の行動が変わります。



覚えておきたい行動の流れ

① 安全確認

② 反応を確認

③ 助けを呼ぶ



④ 呼吸を確認

肩をたたく

⑤ 胸骨圧迫

胸・お腹の動きを見る

乳頭のあいだ

⑥ AEDで電気ショック

体から離れて



引用）日本光電　AEDを使用した救命の手順 https://www.aed-life.com/information/life/【2025.11.20】



Q1：AEDって誰でも使えるの？

音声の案内にしたがえば誰でも使えます





Q2：使い方を間違えたらどうしよう？

必要な時しか電気は流れません





Q3：子供にも使えるの？

使えます。小児用パッドでも大人用でも大丈夫です





JCHO東京蒲田医療センター
〒144-0035　東京都大田区南蒲田2-19-2
TEL：03-3738-8221（代表）
FAX：03-5744-3280（地域連携室）

